令和6年度

川西町教育委員会事務事業評価報告書

(令和5年度対象)

令和7年1月

川西町教育委員会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年 法律第162号)

第26条第1項の規定に基づき、令和4年度に川西町教育委員会が実施した教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価の結果について報告します。

令和7年1月24日

川西町教育委員会

教育長 橋 本 宗 和

《地方教育行政の組織及び運営に関する法律条文(抜粋)》

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検評価を行うに当たっては、教育に関し、学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

目 次

★教育総務課事業

◎総務・学校教育関係

・人権学習（川西小学校）	5
・要保護・準要保護児童生徒就学援助費及び特別支援教育就学奨励費	7
・能楽体験活動（川西小学校）	9
・子どもと親の心の相談員配置事業（川西小学校）	11
・特別支援教育支援員配置事業（川西小学校）	13
・学校地域パートナーシップ事業	15
・小学校少人数学級編制／町費講師加配事業	17
・特別支援教育支援員配置事業（川西幼稚園）	19
・小学校新入学児童制服等支給事業	21

★社会教育課事業

◎社会教育関係

・子ども会連合会活動支援事業	24
・文化協会支援事業	26
・高齢者教室	28
・青少年健全育成事業	30
・人権教育推進市町村事業	32
・芸術文化振興事業	34
・川西文化祭	36
・文化財保存事業	38
・島の山古墳史跡公園化事業	40
・成人式	42
・子育て支援事業（家庭教育学級）	44
・成人講座事業	46

◎社会体育関係

・スポーツ協会運営事業	49
・スポーツ少年団事業	51

◎図書館関係

・図書館業務	54
・おはなし会	56
・おはなしボランティア養成講座	58

◎子どもセンター関係

・地域ふれあい事業	61
-----------	----

令和5年度事務事業評価対象事業

教育総務課

番 号	事 業 名
教総 5-1 号	人権学習(川西小学校)
判定及び事業の方向性	B 現状のまま継続する
教総 5-2 号	要保護・準要保護児童生徒就学援助費及び特別支援教育就学奨励費
判定及び事業の方向性	A 現状のまま継続する
教総 5-3 号	能楽体験活動(川西小学校)
判定及び事業の方向性	A 現状のまま継続する
教総 5-4 号	子どもと親の心の相談員配置事業(川西小学校)
判定及び事業の方向性	A 現状のまま継続する
教総 5-5 号	特別支援教育支援員配置事業(川西小学校)
判定及び事業の方向性	A さらに重点化する
教総 5-6 号	学校地域パートナーシップ事業
判定及び事業の方向性	B さらに重点化する
教総 5-7 号	小学校少人数学級編制町費講師加配事業
判定及び事業の方向性	A さらに重点化する
教総 5-8 号	特別支援教育支援員配置事業(川西幼稚園)
判定及び事業の方向性	A 現状のまま継続する
教総 5-9 号	小学校新入学児童制服等支給事業
判定及び事業の方向性	A 現状のまま継続する

教育委員会事業評価報告書

事業 No.	教 総 5 - 1 号	担 当 課 名	教育総務課
事務事業名	人権学習(川西小学校)	施 設 名	川西小学校
総合計画の政策目標名	人権教育の充実	係 名	

事業の目的	差別を正しく認識し、身のまわりの不合理・矛盾を正していく力をつける。 障害を正しく理解し、合理的配慮ができる児童の育成をめざす。			
事業の内容	川西小学校で人権学習を実施する。 学期ごとに実施する「なかま集会」や毎月の「人権を確かめ合う日」の取組において、「いじめ」について考える・平和について考える・多文化共生の豊かさを認め合う・障害を正しく理解する、などのねらいをもって実施する。人権作文の発表会等を行う。			
事業の対象	川西小学校児童			
事業コスト	区分	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
	事業費 ① (千円)	5	10	40
	内一般財源 (千円)	5	10	40
	内補助金等 (千円)			
	人件費 ②			
	総コスト①+② (千円)	5	10	40

事業実績・成果 (指標)	名称	単位	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度(予定)
	川西小	(人)	395	388	388

事業の評価	妥当性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	☐ 増加	☒ 横ばい	☐ 減少	☐ かなり減少
	有効性(施策や運営方法等目的の実現に寄与しているか)			
	☐ 十分寄与する	☒ 概ね寄与する	☐ 余り寄与していない	☐ 出来ていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)			
	☐ 十分出来ている	☒ 出来ている	☐ 余り出来ていない	☐ 出来ていない
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)				
☐ 十分出来ている	☒ 出来ている	☐ 余り出来ていない	☐ 出来ていない	

総合評価 (判定)	<h1>B</h1>	<p>A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている</p> <p>B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている</p> <p>C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い</p> <p>D 成果がほとんど上がっておらず、根本的な見直しが必要</p>
判定説明 及び考察	<p>年間3回の「なかま集会」を実施した。6月は絵本を通じてアンガーマネジメントについて、12月は6年生が修学旅行で学んだ反戦・平和について、3月は「ふわふわ言葉とちくちく言葉」について全校児童で考えた。</p> <p>また、毎月11日の人権を確かめ合う日には人権をテーマとした絵本の読み聞かせや、「くらしをみつめる子ら」に掲載されている作品を紹介し、人権意識をはぐくんできていった。</p>	
事業の 方向性	<p>☐ さらに重点化する</p> <p>☒ 現状のまま継続する</p> <p>☐ 見直しのうえ継続する</p> <p>☐ 事業の縮小を検討する</p> <p>☐ 休止、廃止を検討する</p> <p>☐ 終了・完了</p>	
学識経験者 意見	<p>高学年の子どもが低学年の子どもに絵本の読み聞かせを行った取り組みは、とても良い。大人が伝えることと子どもが伝えることは、効果が違う。ぜひ、継続して取り組んでほしい。</p> <p>また、教師が教え込むような授業ではなく、子どもが協働して学ぶ手法を取り入れた人権学習に取り組んでほしい。人権学習は、教材づくりや教職員研修のための費用がかかるので、予算措置をお願いしたい。</p>	
総合評価 (考察)	<p>子どもたちが導入しやすいテーマや内容を意識したり、子ども自身が学び、また、子ども同士で高め合う人権学習ができることを考えながら、仕掛けや計画を考えていきたい。</p>	
施策等への 反映方針	<p>時代に即した指導や学習を行い、さまざまな人権課題を自分事として学ぶ機会が途切れることのないよう意識して指導する。</p>	

教育委員会事業評価報告書

事業 No.	教 総 5 - 2 号	担 当 課 名	教育総務課
事務事業名	要保護・準要保護児童・生徒就学援助費 及び特別支援教育就学奨励費	施 設 名	
総合計画の政策目標名	援護策の推進	係 名	

事業の目的	要保護、準要保護、特別支援教育の対象となる児童が、容易に就学できるよう一定の基準により経済的援護を行う。			
事業の内容	就学に必要な学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費及び学校給食費等を一定の基準により各学期末に支給する。 平成29年度より、修学旅行費の全額支給、新入生への新入学児童学用品費の入学前(3月)支給、平成30年度からは、受給者の利便性・プライバシー配慮と事務負担の軽減のため、口座振込により支給している。			
事業の対象	川西小学校に在籍する児童の保護者			
事業コスト	区分	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
	事業費 ① (千円)	4,191	4,001	5,790
	内一般財源 (千円)	3,981	3,725	5,205
	内補助金等 (千円)	210	276	585
	人件費 ②			
	総コスト①+② (千円)	4,191	4,001	5,790

事業実績・成果 (指標)	名称	単位	令和4年度実績		令和5年度実績		令和6年度(予定)	
	援助費及び奨励費支給							
	就学援助費	(人・千円)	要 2 名	51	要 0 名	0	要 3 名	90
	就学奨励費	(人・千円)	準 40 名	3,769	準 35 名	3,449	準 30 名	4,618
			特別 10 名	371	特別 14 名	552	特別 16 名	1,082

事業の評価	妥当性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	☐ 増加	☒ 横ばい	☐ 減少	☐ かなり減少
	有効性(施策や運営方法等目的の実現に寄与しているか)			
	☐ 十分寄与する	☒ 概ね寄与する	☐ 余り寄与していない	☐ 出来ていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)			
	☐ 十分出来ている	☒ 出来ている	☐ 余り出来ていない	☐ 出来ていない
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)				
☐ 十分出来ている	☒ 出来ている	☐ 余り出来ていない	☐ 出来ていない	

総合評価 (判定)	<h1>A</h1>	<p>A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている</p> <p>B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている</p> <p>C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い</p> <p>D 成果がほとんど上がっておらず、根本的な見直しが必要</p>						
判定説明 及び考察	<p>就学援助費及び就学奨励費については、文教部門における「セーフティーネット」の一翼を担うものであり、今後も国庫補助事業及び町単独事業として継続すべきものであると考える。令和元年度、生活保護基準の見直しにあわせ、就学援助の認定基準を見直し他市町村並みに範囲を拡充した。また、令和3年度からはオンライン通信費にも支給を実施している。令和6年度に発生する生活保護基準の見直しにも対応し、引き続き滞りない援助を目指す。</p>							
事業の 方向性	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; border: none;">☐ さらに重点化する</td> <td style="width: 50%; border: none;">☐ 事業の縮小を検討する</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">☒ 現状のまま継続する</td> <td style="border: none;">☐ 休止、廃止を検討する</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">☐ 見直しのうえ継続する</td> <td style="border: none;">☐ 終了・完了</td> </tr> </table>		☐ さらに重点化する	☐ 事業の縮小を検討する	☒ 現状のまま継続する	☐ 休止、廃止を検討する	☐ 見直しのうえ継続する	☐ 終了・完了
☐ さらに重点化する	☐ 事業の縮小を検討する							
☒ 現状のまま継続する	☐ 休止、廃止を検討する							
☐ 見直しのうえ継続する	☐ 終了・完了							
学識経験者 意見	<p>物価高で家計が苦しいところが増えている。家庭状況をしっかりとつかみながら、継続して取り組んでほしい。</p> <p>また貧困であるがゆえに、十分な食事が与えられなかったり、児童の学びに遅延が生じることは、忍び難いことである。今後も漏れ落ちのないように、質の高い事業を行ってほしい。</p>							
総合評価 (考察)	<p>子どもたちの学びを止めないよう、保護者と児童が安心して学んでいけるよう、引き続き事業を継続する。</p>							
施策等への 反映方針	<p>制度改正に柔軟に対応し、必要に応じて適切な支給事務を続けるよう実施していく。</p>							

教育委員会事業評価報告書

事業 No.	教 総 5 - 3 号	担 当 課 名	教育総務課
事務事業名	能楽体験活動(川西小学校)	施 設 名	川西小学校
総合計画の政策目標名	文化財を守り伝える	係 名	

事業の目的	実際に能楽を体験することで、本町の伝統芸能である能を身近に感じ、能や川西町を大切にしたい気持ちを養い、個性豊かな文化の創造に努める児童を育成する。			
事業の内容	観世流の能の先生から指導を受ける。 4年生全員が「能」の謡、仕舞、小鼓、太鼓をそれぞれ体験し、各役割別に分かれて能「玄象」を演じる。また、最後に授業参観や6年生を送る会等で発表する。 4年生「能に親しもう」(2学期・3学期) 「能」体験学習(総合学習)			
事業の対象	川西小学校4年生			
事業コスト	区分	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
	事業費 ① (千円)	600	600	600
	内一般財源 (千円)	600	600	600
	内補助金等 (千円)			
	人件費 ②			
	総コスト①+② (千円)	600	600	600

事業実績・成果 (指標)	名称	単位	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度(予定)
	川西小4年生	(人)	67	70	68

事業の評価	妥当性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	☐ 増加	☒ 横ばい	☐ 減少	☐ かなり減少
	有効性(施策や運営方法等目的の実現に寄与しているか)			
	☐ 十分寄与する	☒ 概ね寄与する	☐ 余り寄与していない	☐ 出来ていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト削減しているか)			
	☐ 十分出来ている	☒ 出来ている	☐ 余り出来ていない	☐ 出来ていない
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)				
☐ 十分出来ている	☒ 出来ている	☐ 余り出来ていない	☐ 出来ていない	

教育委員会事業評価報告書

事業 No.	教 総 5 - 4 号	担 当 課 名	教育総務課
事務事業名	子どもと親の心の相談員配置事業(川西小学校)	施 設 名	川西小学校
総合計画の政策目標名	生きる力を育む教育の推進	係 名	

事業の目的	いじめ・不登校等の早期発見・早期対応や未然防止のため相談員を配置し、生きる力を育む教育の推進を行う。			
事業の内容	不登校等の早期発見・早期対応や未然防止を図るため、小学校に「子どもと親の心の相談員」を配置し、支援や調査研究を行う。相談員は、家庭訪問・登校支援・学習支援・心の相談・保護者に対するサポート等を行う。 川西町の単独事業で行っている。			
事業の対象	小学校児童とその保護者に対し、相談員1名の活動			
事業コスト	区分	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
	事業費 ① (千円)	1,705	1,812	2,525
	内一般財源 (千円)	1,705	1,812	2,525
	内補助金等 (千円)			
	人件費 ②			
	総コスト①+② (千円)	1,705	1,812	2,525

事業実績・成果 (指標)	名称	単位	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度(予定)
	配置相談員	(人)	小学校 1	小学校 1	小学校 1

事業の評価	妥当性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	☐ 増加	☒ 横ばい	☐ 減少	☐ かなり減少
	有効性(施策や運営方法等目的の実現に寄与しているか)			
	☐ 十分寄与する	☒ 概ね寄与する	☐ 余り寄与していない	☐ 出来ていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)			
	☐ 十分出来ている	☒ 出来ている	☐ 余り出来ていない	☐ 出来ていない
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)				
☐ 十分出来ている	☒ 出来ている	☐ 余り出来ていない	☐ 出来ていない	

教育委員会事業評価報告書

事業 No.	教 総 5 - 5 号	担 当 課 名	教育総務課
事務事業名	特別支援教育支援員配置事業(川西小学校)	施 設 名	川西小学校
総合計画の政策目標名	生きる力を育む教育の推進	係 名	

事業の目的	障害のある児童の自立や社会参加に向けた、主体的な取り組みを支援するという視点に立ち、児童の一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行う。			
事業の内容	軽度発達障害等の児童への支援 ・ 通常学級での支援児童への補助を川西町の単独事業で行っている。			
事業の対象	生活上や学習指導上の支援を必要とする川西小学校の児童			
事業コスト	区分	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
	事業費 ① (千円)	3,069	4,610	10,731
	内一般財源 (千円)	3,069	4,610	10,731
	内補助金等 (千円)			
	人件費 ②			
総コスト①+② (千円)	3,069	4,610	10,731	

事業実績・成果 (指標)	名称	単位	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度(予定)
	支援員	(人)	5	8	8
	特別支援学級児童数	(人)	32	26	32
	通級指導教室	(人)	18	15	16

事業の評価	妥当性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	☒ 増加	☐ 横ばい	☐ 減少	☐ かなり減少
	有効性(施策や運営方法等目的の実現に寄与しているか)			
	☐ 十分寄与する	☒ 概ね寄与する	☐ 余り寄与していない	☐ 出来ていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)			
	☐ 十分出来ている	☒ 出来ている	☐ 余り出来ていない	☐ 出来ていない
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)				
☐ 十分出来ている	☒ 出来ている	☐ 余り出来ていない	☐ 出来ていない	

教育委員会事業評価報告書

事業 No.	教 総 5 - 6 号	担 当 課 名	教育総務課
事務事業名	学校地域パートナーシップ事業	施 設 名	川西小学校
総合計画の政策目標名	生涯学習の推進(地域連携)	係 名	

事業の目的	地域と共にある学校づくり「連携・協力」から「参画・協働」のもと、学校運営に保護者・地域が「参画」し、教職員・保護者・地域住民が「協働」して、子どもたちの課題解決を図ることを目的とする。「地域教育力」を向上させる。
-------	--

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校登下校見守り活動(社会教育) ・ 学校ボランティアの活用 ・ 地域歴史グループによる、校区探検学習による現地講師 ・ 行政職員の協力による、様々な体験活動(防災訓練、子ども議会) ・ 放課後子ども学習会の開講
-------	--

事業の対象	川西小学校1年～6年
-------	------------

事業コスト	区分	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
	事業費 ① (千円)	348	354	401
内一般財源 (千円)	116	118	134	
内補助金等 (千円)	232	236	267	
人件費 ②				
総コスト①+② (千円)	348	354	401	

事業実績・成果 (指標)	名称	単位	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度(予定)
	全校生	(人)	395	388	388
	学習会参加児童	(人)	677	-	-
			申込 39	申込 41	申込 32

事業の評価	妥当性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	☐ 増加	☒ 横ばい	☐ 減少	☐ かなり減少
	有効性(施策や運営方法等目的の実現に寄与しているか)			
	☐ 十分寄与する	☒ 概ね寄与する	☐ 余り寄与していない	☐ 出来ていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)			
	☐ 十分出来ている	☒ 出来ている	☐ 余り出来ていない	☐ 出来ていない
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)				
☐ 十分出来ている	☒ 出来ている	☐ 余り出来ていない	☐ 出来ていない	

教育委員会事業評価報告書

事業 No.	教 総 5 - 7 号	担 当 課 名	教育総務課
事務事業名	小学校少人数学級編制 町費講師加配事業	施 設 名	川西小学校
総合計画の政策目標名	生きる力を育む教育の推進	係 名	

事業の目的	県教育委員会が定めた、公立小・中学校の学級編制基準並びに教職員定数の配当基準とは別に少人数によるきめ細かな教育を行うため、川西小学校において実施する少人数学級編制について、町費講師を配置し子どもたちの確かな学力や円滑な学校生活の定着を図る。			
事業の内容	川西小学校低学年(1,2年)の1学級の人数が30人を超える場合や、その他特別事情のある学年等について、予算の範囲内で町費講師を配置する。 平成28年度より、副担任制度を試行的に導入した。			
事業の対象	川西小学校低学年(1, 2年)			
事業コスト	区分	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
	事業費 ① (千円)	4,705	5,112	6,488
	内一般財源 (千円)	4,705	5,112	6,488
	内補助金等 (千円)			
	人件費 ②			
	総コスト①+② (千円)	4,705	5,112	6,488

事業実績・成果 (指標)	名称	単位	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度(予定)
	町費講師	(人)			
	副担任	(人)	2	2	2

事業の評価	妥当性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	☐ 増加	☒ 横ばい	☐ 減少	☐ かなり減少
	有効性(施策や運営方法等目的の実現に寄与しているか)			
	☐ 十分寄与する	☒ 概ね寄与する	☐ 余り寄与していない	☐ 出来ていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)			
	☐ 十分出来ている	☒ 出来ている	☐ 余り出来ていない	☐ 出来ていない
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)				
☐ 十分出来ている	☒ 出来ている	☐ 余り出来ていない	☐ 出来ていない	

総合評価 (判定)	<h1>A</h1>	<p>A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている</p> <p>B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている</p> <p>C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い</p> <p>D 成果がほとんど上がっておらず、根本的な見直しが必要</p>
判定説明 及び考察	<p>発達障害と思われる児童、家庭生活のしんどさからくる荒れ、自尊心の低さから学習意欲が低下していると思われる児童が多くなる中で、授業や生活面において特別に支援を行い、きめ細やかな対応ができる教育環境を整備するため、1年生において副担任制度を実施し、複数の目で指導することができた。</p>	
事業の 方向性	<p>☒ さらに重点化する ☐ 事業の縮小を検討する</p> <p>☐ 現状のまま継続する ☐ 休止、廃止を検討する</p> <p>☐ 見直しのうえ継続する ☐ 終了・完了</p>	
学識経験者 意見	<p>少人数学級学級編成は、生活面、学習面ともに児童にきめ細やかな教育や支援の提供を実現している。 また、教職員の過剰な負担を軽減し、より質の高い教育内容の創造を促すことになる。ぜひ、継続してもらいたい。</p>	
総合評価 (考察)	<p>本事業は、児童一人ひとりに寄り添ったきめ細やかな指導の充実に寄与しており、今後も引き続き低学年における学びの体制の充実を図り、より高い教育レベルを維持できるよう取り組んでいく。</p>	
施策等への 反映方針	<p>個々の児童にあった最適な学びを実現できる指導体制の維持に継続して取り組んでいく。</p>	

教育委員会事業評価報告書

事業 No.	教 総 5 - 8 号	担 当 課 名	教育総務課
事務事業名	特別支援教育支援員配置事業(川西幼稚園)	施 設 名	川西幼稚園
総合計画の政策目標名	生きる力を育む教育の推進	係 名	

事業の目的	障害のある園児の自立や社会参加に向けた、主体的な取組を支援するという視点に立ち、子どもの持てる力を高め、生活や体験上の困難を克服するため園内での適切な指導及び必要な支援を行う。			
事業の内容	軽度発達障害等の園児への支援、保育室内での支援児への補助。			
事業の対象	生活上や学習指導上の支援を必要とする園児			
事業コスト	区分	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
	事業費 ① (千円)	5,805	6,034	7,040
	内一般財源 (千円)	5,481	6,034	7,040
	内補助金等 (千円)	324		
	人件費 ②			
	総コスト①+② (千円)	5,805	6,034	7,040

事業実績・成果 (指標)	名称	単位	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度(予定)
	特別支援教育支援員	(人)	3	3	5

事業の評価	妥当性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	☒ 増加	☐ 横ばい	☐ 減少	☐ かなり減少
	有効性(施策や運営方法等目的の実現に寄与しているか)			
	☐ 十分寄与する	☒ 概ね寄与する	☐ 余り寄与していない	☐ 出来ていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)			
	☐ 十分出来ている	☒ 出来ている	☐ 余り出来ていない	☐ 出来ていない
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)				
☐ 十分出来ている	☒ 出来ている	☐ 余り出来ていない	☐ 出来ていない	

教育委員会事業評価報告書

事業 No.	教 総 5 - 9 号	担 当 課 名	教育総務課
事務事業名	小学校新入学児童制服等購入費助成事業	施 設 名	川西小学校
総合計画の政策目標名	援護策の推進	係 名	

事業の目的	川西町立小学校(二階堂小学校委託児童を含む)へ新入学する児童の保護者に対し、入学時もしくは在学中一度に限り制服等購入費を助成することにより、児童の保護者の負担軽減を図る。			
事業の内容	川西小学校並びに二階堂小学校に新たに入学する児童の保護者に対し制服購入費を助成する。			
事業の対象	新小学1年			
事業コスト	区分	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
	事業費 ① (千円)	760	909	952
	内一般財源 (千円)	760	909	952
	内補助金等 (千円)			
	人件費 ②			
	総コスト①+② (千円)	760	909	952

事業実績・成果 (指標)	名称	単位	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度(予定)
	川西小学校	(人)	48	58	53
	二階堂小学校	(人)	2	2	0

事業の評価	妥当性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	☐ 増加	☒ 横ばい	☐ 減少	☐ かなり減少
	有効性(施策や運営方法等目的の実現に寄与しているか)			
	☒ 十分寄与する	☐ 概ね寄与する	☐ 余り寄与していない	☐ 出来ていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)			
	☐ 十分出来ている	☒ 出来ている	☐ 余り出来ていない	☐ 出来ていない
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)				
☐ 十分出来ている	☒ 出来ている	☐ 余り出来ていない	☐ 出来ていない	

総合評価 (判定)	<h1>A</h1>	<p>A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている</p> <p>B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている</p> <p>C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い</p> <p>D 成果がほとんど上がっておらず、根本的な見直しが必要</p>						
判定説明 及び考察	<p>就学を迎える児童の制服は、保護者がほぼ必ず用意するものであり、入学時もしくは在学中一度に限り制服購入費を助成する本事業は、経済的負担を軽減する上で大きく寄与するものと考えている。</p> <p>あわせて、地場産業である貝釦を身に付けることは、保護者を含め地域をよく知り、地域への愛着を高める効果が期待できる。</p>							
事業の 方向性	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; border: none;">☐ さらに重点化する</td> <td style="width: 50%; border: none;">☐ 事業の縮小を検討する</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">☒ 現状のまま継続する</td> <td style="border: none;">☐ 休止、廃止を検討する</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">☐ 見直しのうえ継続する</td> <td style="border: none;">☐ 終了・完了</td> </tr> </table>		☐ さらに重点化する	☐ 事業の縮小を検討する	☒ 現状のまま継続する	☐ 休止、廃止を検討する	☐ 見直しのうえ継続する	☐ 終了・完了
☐ さらに重点化する	☐ 事業の縮小を検討する							
☒ 現状のまま継続する	☐ 休止、廃止を検討する							
☐ 見直しのうえ継続する	☐ 終了・完了							
学識経験者 意見	<p>この事業は、保護者の経済的負担を軽減する上で粹な計らいとなっている。是非、継続をお願いしたい。そして、さらに中学校と高校の入学時についても制服購入費用の助成を検討していただきたい。まずは、要保護家庭、準用保護家庭に限って実施してはどうか。</p>							
総合評価 (考察)	<p>本町独自の取り組みであり、今後も保護者の意見やニーズの把握に努めつつ継続して実施していく。</p>							
施策等への 反映方針	<p>引き続き保護者の経済的な負担の軽減と子育て支援の充実に取り組んでいく。</p>							

令和5年度事務事業評価対象事業

社会教育課

番 号	事 業 名
教社 5-1 号	子ども会連合会活動支援事業
判定及び事業の方向性	B 現状のまま継続する
教社 5-2 号	文化協会支援事業
判定及び事業の方向性	B 現状のまま継続する
教社 5-3 号	高齢者教室
判定及び事業の方向性	B 現状のまま継続する
教社 5-4 号	青少年健全育成事業
判定及び事業の方向性	B 現状のまま継続する
教社 5-5 号	人権教育推進市町村事業
判定及び事業の方向性	B 現状のまま継続する
教社 5-6 号	芸術文化振興事業
判定及び事業の方向性	B 現状のまま継続する
教社 5-7 号	川西文化祭
判定及び事業の方向性	A さらに重点化する
教社 5-8 号	文化財保存事業
判定及び事業の方向性	B 現状のまま継続する
教社 5-9 号	島の山古墳史跡公園化事業
判定及び事業の方向性	B 現状のまま継続する
教社 5-10 号	二十歳のつどい
判定及び事業の方向性	B 現状のまま継続する
教社 5-11 号	子育て支援事業(家庭教育学級)
判定及び事業の方向性	A 現状のまま継続する
教社 5-12 号	成人講座事業
判定及び事業の方向性	C 見直しのうえ検討する

教育委員会事業評価報告書

事業 No.	教社 5 - 1 号	担当課名	社会教育課
事務事業名	子ども会連合会活動支援事業	施設名	
総合計画の政策目標名	教育の充実と青少年の健全育成	係名	生涯学習係

事業の目的	各自治会等の子ども会の集まりである、子ども会連合会の事業を支援する。			
事業の内容	各自治会等で結成されている子ども会の連合体である子ども会連合会の活動を、支援する。予算的な措置としては、子ども会連合会への補助金の支出である。他に、子ども会連合会行事(フリスビードッジボール大会、合同クリスマス会)の準備・進行、支部長会の開催、安全会関連の事務等を行っている。 毎年行事として定着してきた事業については、定着してきた反面、少子化の表れ(特に2～3支部の子ども会加入者減少)見直しが課題。			
事業の対象	町内の単位子ども会の連合会組織活動			
事業コスト	区分	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
	事業費① (千円)	263	300	300
	内一般財源 (千円)	263	300	300
	内受益者負担 (千円)			
	人件費②			
	総コスト①+② (千円)	263	300	300

事業実績・成果 (指標)	名称	単位	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度(予定)
	安全会加入者	(人)	396	377	350
	内子ども加入者	(人)	208	197	180

事業の評価	妥当性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	☐ 増加	☒ 横ばい	☐ 減少	☐ かなり減少
	有効性(施策や運営方法等目的の実現に寄与しているか)			
	☒ 十分寄与する	☐ 概ね寄与する	☐ 余り寄与していない	☐ 出来ていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)			
	☐ 十分出来ている	☒ 出来ている	☐ 余り出来ていない	☐ 出来ていない
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)				
☐ 十分出来ている	☒ 出来ている	☐ 余り出来ていない	☐ 出来ていない	

総合評価 (判定)	<h1>B</h1>	<p>A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている</p> <p>B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている</p> <p>C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い</p> <p>D 成果がほとんど上がっておらず、根本的な見直しが必要</p>						
判定説明 及び考察	<p>川西町子ども会連合会活動として、6月にfrisbeedッチとポッチャ種目にてスポーツ交流会を行い、65名の参加。</p> <p>1月の合同交流会事業については、町子連支部長(役員)の企画により、「冬のおまつり～縁日～」を役員の手作りで行事を行い、254名の参加。</p> <p>各子ども会単位においても、交流事業、地域清掃活動や廃品回収事業等行われました。</p>							
事業の 方向性	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; border: none;">☐ さらに重点化する</td> <td style="width: 50%; border: none;">☐ 事業の縮小を検討する</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">☒ 現状のまま継続する</td> <td style="border: none;">☐ 休止、廃止を検討する</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">☐ 見直しのうえ継続する</td> <td style="border: none;">☐ 終了・完了</td> </tr> </table>		☐ さらに重点化する	☐ 事業の縮小を検討する	☒ 現状のまま継続する	☐ 休止、廃止を検討する	☐ 見直しのうえ継続する	☐ 終了・完了
☐ さらに重点化する	☐ 事業の縮小を検討する							
☒ 現状のまま継続する	☐ 休止、廃止を検討する							
☐ 見直しのうえ継続する	☐ 終了・完了							
学識経験者 意見	<p>子ども会への加入者の減少や子ども会の自治会がある中で、子ども会が無い地域の子どもが参加できる取り組みで良いと思う。今後も参加者が多いスポーツ交流会や冬のおまつりに、子ども会のない自治会の子どもが参加できるよう配慮して取り組みを継続してほしい。</p>							
総合評価 (考察)	<p>各支部役員(支部長)が中心となり、イベントの立案・計画を行い、子ども会会員以外でも楽しめるイベントづくりを考え、登録者数の増加を進めていく。</p>							
施策等への 反映方針	<p>今後も、子どもと大人がともに楽しめる団体として、発展に進めていく。また子どもの財産は時間であり、それを意識した取り組みを進めていく。</p>							

教育委員会事業評価報告書

事業 No.	教社 5 - 2 号	担当課名	社会教育課
事務事業名	文化協会支援事業	施設名	
総合計画の政策目標名	生涯学習の推進	係名	生涯学習係

事業の目的	生涯学習を通じて学ぶ喜びと限りない希望を持ち、川西町の文化の発展に努めるとともに会員相互の親睦を図る。
-------	---

事業の内容	生涯学習推進の一躍を担う文化協会活動に対して、補助金を支出し、運営などについて支援する。
-------	--

事業の対象	町民
-------	----

事業コスト	区分	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
	事業費 ① (千円)	250	250	250
内一般財源 (千円)	250	250	250	
内受益者負担 (千円)				
人件費 ②				
総コスト①+② (千円)	250	250	250	

事業実績・成果 (指標)	名称	単位	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度(予定)
	加入者数	(人)	343	334	371

事業の評価	妥当性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	☐ 増加	☐ 横ばい	☒ 減少	☐ かなり減少
	有効性(施策や運営方法等目的の実現に寄与しているか)			
	☐ 十分寄与する	☒ 概ね寄与する	☐ 余り寄与していない	☐ 出来ていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)			
	☐ 十分出来ている	☐ 出来ている	☐ 余り出来ていない	☒ 出来ていない
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)				
☐ 十分出来ている	☐ 出来ている	☒ 余り出来ていない	☐ 出来ていない	

総合評価 (判定)	<h1>B</h1>	<p>A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている</p> <p>B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている</p> <p>C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い</p> <p>D 成果がほとんど上がっておらず、根本的な見直しが必要</p>						
判定説明 及び考察	<p>コロナ禍の影響により会員が未だ減少傾向。しかしながら、新規団体の加入や、団体独自の取り組みは活発化(前年比+2件)の傾向にあり、今後の会員増へ期待が持てる。また、コロナ禍以降の初めての文化祭の通常運営での開催もあり、さらに町内での文化的発展に寄与するものと考え。</p>							
事業の 方向性	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; border: none;">☐ さらに重点化する</td> <td style="width: 50%; border: none;">☐ 事業の縮小を検討する</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">☒ 現状のまま継続する</td> <td style="border: none;">☐ 休止、廃止を検討する</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">☐ 見直しのうえ継続する</td> <td style="border: none;">☐ 終了・完了</td> </tr> </table>		☐ さらに重点化する	☐ 事業の縮小を検討する	☒ 現状のまま継続する	☐ 休止、廃止を検討する	☐ 見直しのうえ継続する	☐ 終了・完了
☐ さらに重点化する	☐ 事業の縮小を検討する							
☒ 現状のまま継続する	☐ 休止、廃止を検討する							
☐ 見直しのうえ継続する	☐ 終了・完了							
学識経験者 意見	<p>会員は減っているが、きちんと活動していただいている。会員の募集について、自治会に協力を依頼して、現会員の声を反映した活動内容のチラシまたは広報で周知を図ると良いのではないかと考える。</p> <p>文化祭での取り組みは、本町の規模から考えると、とても充実していると思う。</p>							
総合評価 (考察)	<p>文化協会クラブ案内の作成に取り組んでおり、会員も減少だけでなく、クラブによっては、増加しているクラブがあるので、一定以上の効果は出ている。</p> <p>会員はもちろんだが、新たなクラブが増えることを目指していく。</p>							
施策等への 反映方針	<p>ニーズのある内容を調査し体験教室などを開催し会員獲得のための事業を行っていく。</p>							

教育委員会事業評価報告書

事業 No.	教社5-3号	担当課名	社会教育課
事務事業名	高齢者教室	施設名	
総合計画の政策目標名	多様な学習機会・情報の提供	係名	生涯学習係

事業の目的	高齢化が進む現代社会において、自立し社会への進出が容易にできるよう、活動の場を提供することによって、高齢者相互の交流を深め充実した生活と生きがいを見出すとともに、健康の増進をはかる。
-------	---

事業の内容	年間5回開催。講演・社会見学等を行う。(別に11月に演芸大会も開催) 5月開講式(講演会) 6月社会見学 7月町民集会 10月講演会 2月閉講式(講演会)
-------	---

事業の対象	一般住民
-------	------

事業コスト	区分	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
	事業費① (千円)	0	810	1,239
内一般財源 (千円)	0	440	549	
内受益者負担 (千円)	0	370	690	
人件費②				
総コスト①+② (千円)	0	1,139		

事業実績・成果 (指標)	名称	単位	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度(予定)
	高齢者(延べ数)	(人)	44	263	300
教室登録者	(人)	190	181	180	

事業の評価	妥当性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	☐ 増加	☒ 横ばい	☐ 減少	☐ かなり減少
	有効性(施策や運営方法等目的の実現に寄与しているか)			
	☐ 十分寄与する	☒ 概ね寄与する	☐ 余り寄与していない	☐ 出来ていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)			
☐ 十分出来ている	☒ 出来ている	☐ 余り出来ていない	☐ 出来ていない	
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)				
☐ 十分出来ている	☒ 出来ている	☐ 余り出来ていない	☐ 出来ていない	

教育委員会事業評価報告書

事業 No.	教社5-4号	担当課名	社会教育課
事務事業名	青少年健全育成事業	施設名	
総合計画の政策目標名	青少年の健全育成	係名	生涯学習係

事業の目的	学校・家庭及び地域社会が連携を密にして、青少年を心豊かで人や郷土すべてに思いやりを持てるように、また自発的に奉仕活動等に参加できる子どもを育成し、活力ある町づくり・地域社会づくりをめざす。			
事業の内容	1. 青少年健全育成事業: 地域ぐるみで、子どもたちの安全を見守り、防犯や子どもたちの健全育成を図る。 2. 世代間交流活動: 子ども囲碁教室生と老人クラブとが対局を通して、子どもと高齢者とのふれあいの場を提供し、交流を深める。(令和2年度は実施できず) 3. 児童音楽講座: 幼・小・中学生を対象に音楽をとおして、年齢差を越えた仲間づくりをすることで「こころ」のふれあいを図る。			
事業の対象	青少年全体			
事業コスト	区分	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
	事業費① (千円)	1,191	1,274	2,080
	内一般財源 (千円)	787	872	1,657
	補助金+負担金 (千円)	404	402	423
	人件費②			
	総コスト①+② (千円)	1,191	1,274	2,080

事業実績・成果 (指標)	名称	単位	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度(予定)
	講座受講者	(人)	84	78	52
	見守り隊登録	(人)	315	274	246

事業の評価	妥当性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	☐ 増加	☒ 横ばい	☐ 減少	☐ かなり減少
	有効性(施策や運営方法等目的の実現に寄与しているか)			
	☐ 十分寄与する	☒ 概ね寄与する	☐ 余り寄与していない	☐ 出来ていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)			
	☐ 十分出来ている	☒ 出来ている	☐ 余り出来ていない	☒ 出来ていない
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)				
☐ 十分出来ている	☒ 出来ている	☐ 余り出来ていない	☐ 出来ていない	

総合評価 (判定)	<h1>B</h1>	<p>A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている</p> <p>B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている</p> <p>C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い</p> <p>D 成果がほとんど上がっておらず、根本的な見直しが必要</p>						
判定説明 及び考察	<p>子どもの講座において、子どもフェスティバルを開催した際、子ども和太鼓講座の卒業生からなる和太鼓チーム「結」に登場していただいた。このチームの存在に対して県の地域パートナーシップ補助金の担当者からも注目をかねてから受けている。加えて敬老会の慰問を合唱団が行う等社会的に意義のある活動も並行して行っている。</p> <p>また、講師の皆様も非常に大きな意欲をもって子どもたちを指導されている。その影響もあって継続受講も多い。</p> <p>しかしながら、昨年度に和太鼓の講師から将来的に講座を縮小していきたいという申し出があり、令和6年度から縮小することになる。主な理由は講師の人数の減少や講師の高齢化によるもの。これを受けて小学生は33回から22回へ、中学生以上はクラブ化することになる。</p> <p>平成26年度より開講した能楽講座であるが、令和元年度からは小学校において夏季集中講座を行い、5年度の夏季は9名の参加があり、そのうち6名が生國魂神社の舞台に立った。これまで講座受講生は全員舞台に立っていたが、それが出来なかった子供が3名いた。また今年度は小学校の研究大会においても発表の場があり、これのみに出場する子もいた、また夏季に舞台に出れなかった子供はこちらには出場した。</p> <p>囲碁による世代間交流は、相手になる囲碁教室の子供がコロナ禍を経て人数が減少しており、若干老人クラブと人数のミスマッチが起きていた。これからの回復が期待される。</p> <p>見守り隊については意見交換会を開催したところ、どこの隊も高齢化と新規加入者の取り込みに苦労していた。</p>							
事業の 方向性	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>☐ さらに重点化する</td> <td>☐ 事業の縮小を検討する</td> </tr> <tr> <td>☒ 現状のまま継続する</td> <td>☐ 休止、廃止を検討する</td> </tr> <tr> <td>☐ 見直しのうえ継続する</td> <td>☐ 終了・完了</td> </tr> </table>		☐ さらに重点化する	☐ 事業の縮小を検討する	☒ 現状のまま継続する	☐ 休止、廃止を検討する	☐ 見直しのうえ継続する	☐ 終了・完了
☐ さらに重点化する	☐ 事業の縮小を検討する							
☒ 現状のまま継続する	☐ 休止、廃止を検討する							
☐ 見直しのうえ継続する	☐ 終了・完了							
学識経験者 意見	<p>高齢化で年々、人数が減っている。定年を迎えていても60代半ばまで仕事をしている人が増えており、世代間交流ができなくなっている。しかし、指導し続けている人の質は高いように思う。</p> <p>今後は、人数での評価ではなく、質を重視した評価指標に変更してほしい。人数は少なくなっているが、良い取り組みであると感じている。</p>							
総合評価 (考察)	<p>見守り活動については、高齢化に対して有効な方策を打ち出していかなければいけないと考える。</p>							
施策等への 反映方針	<p>青少年の講座は老人会への慰問等の取り組みについて指標に入れていきたいと思う。見守り隊は内外にアピールしていき、少しでも多くの会員が増えるようにしたい。近年の減少傾向を止めていきたい。</p>							

教育委員会事業評価報告書

事業 No.	教社5 - 5号	担当課名	社会教育課
事務事業名	人権教育推進市町村事業	施設名	
総合計画の政策目標名	人権教育の充実	係名	生涯学習係

事業の目的	◎人権を大切にし、「命」を大事にするやさしさとぬくもりのあるまちづくり ◎共生を基本とし、あらゆる人権侵害・人権課題の解決につながる活動 ◎21世紀は人権の世紀、人権文化の進化と拡張			
事業の内容	①「人権尊重のまちづくり」にむけて…地域にある人権課題を熟考・解決するために、人権教育地区別懇談会を進める。 ②さまざまな人権課題についての学習について…人権教育研修講座や差別をなくす町民集会、「人・愛・ふれあいのつどい」の企画運営を行う。また、県や全国の研究会や研修会に積極的に参加する。 ③人権教育推進に向けた「つながり」について…各種団体・組織との連携を密に図る。			
事業の対象	一般住民			
事業コスト	区分	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
	事業費① (千円)	816	816	816
	内一般財源 (千円)	816	816	816
	内受益者負担 (千円)			
	人件費②			
	総コスト①+② (千円)	816	816	816

事業実績・成果 (指標)	名称	単位	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度(予定)
	いきがいセミナー	(人)	5	5	5
	地区別懇談会	(人)	232	290	300
	人権教育指導者養成事業	(人)	278	345	360

事業の評価	妥当性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	☒ 増加	☐ 横ばい	☐ 減少	☐ かなり減少
	有効性(施策や運営方法等目的の実現に寄与しているか)			
	☐ 十分寄与する	☒ 概ね寄与する	☐ 余り寄与していない	☐ 出来ていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)			
☐ 十分出来ている	☒ 出来ている	☐ 余り出来ていない	☐ 出来ていない	
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)				
☐ 十分出来ている	☒ 出来ている	☐ 余り出来ていない	☐ 出来ていない	

総合評価 (判定)	<h1>B</h1>	<p>A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている</p> <p>B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている</p> <p>C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い</p> <p>D 成果がほとんど上がっておらず、根本的な見直しが必要</p>
判定説明 及び考察	<p>人権尊重のまちづくりを目標に、テーマ別研修会や2回の展示会(人権ポスター展、反戦平和展)を計画的に行えた。また、差別を考える町民集会(7月)や「人・愛・ふれあいのつどい」(12月)の認知度も高い。7月と12月が、人権月間や人権週間であることを意識しながら、テーマや催しを企画・運営していきたい。人権地区別懇談会は、19自治会345人の参加でコロナ感染時期の落ち込みから増加傾向に推移した。今後も自治会長とよく相談をして地区別懇談会を有意義な取り組みにしていきたい。</p>	
事業の 方向性	<p>☐ さらに重点化する</p> <p>☒ 現状のまま継続する</p> <p>☐ 見直しのうえ継続する</p> <p>☐ 事業の縮小を検討する</p> <p>☐ 休止、廃止を検討する</p> <p>☐ 終了・完了</p>	
学識経験者 意見	<p>講座の講師料が低いように感じている。他の講師謝金の相場を確認し、予算の検討を進めてほしい。</p> <p>人権尊重のまちづくりに大事なものは、地区別懇談会である。地区別懇談会の多くがビデオを活用しているが、ぜひ、身近なテーマを取り上げた内容にも取り組んでほしい。</p>	
総合評価 (考察)	<p>地区別懇談会のテーマについて、事務局からの提案内容に差別問題以外の視点も取り入れる様に検討していく。</p> <p>実際の開催内容については各自治会の対応となるため、総会等自治会長が出席される会議等で提案や働きかけを行っていく。</p> <p>予算確保については、引き続き財政部局働きかける。</p>	
施策等への 反映方針	<p>昨年度に引き続き、地区別懇談会の取り組み方について、実施内容案(モデルケース)の作成や他自治会の取り組みを紹介するなどして、各自治会の取り組みの活性化を支援してよう検討していく。</p>	

教育委員会事業評価報告書

事業 No.	教社 5 - 6 号	担当課名	社会教育課
事務事業名	芸術文化振興事業	施設名	
総合計画の政策目標名	地域文化の創造	係名	生涯学習係

事業の目的	地域の文化活動の種を掘り起こし、育て、芸術文化としての成長を促進していきます。住民が参加できる事業を中心に実施し、文化芸術に触れる機会を創出します。
-------	--

事業の内容	公募により、住民や町関係者が参加できるワークショップや演奏会を開催します。また、町の伝統芸能である「能楽」も実施します。
-------	--

事業の対象	一般住民
-------	------

事業コスト	区分	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
	事業費 ① (千円)	4,534	5,496	8,518
	内一般財源 (千円)	3,143	4,354	6,718
	内補助金・入場料 (千円)	1,391	1,142	1,800
	人件費 ②			
	総コスト①+② (千円)	4,534	5,496	8,518

事業実績・成果 (指標)	名称	単位	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度(予定)
	入場者数	(人)	740	841	1,000

事業の評価	妥当性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	☐ 増加	☒ 横ばい	☐ 減少	☐ かなり減少
	有効性(施策や運営方法等目的の実現に寄与しているか)			
	☐ 十分寄与する	☒ 概ね寄与する	☐ 余り寄与していない	☐ 出来ていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)			
	☐ 十分出来ている	☒ 出来ている	☐ 余り出来ていない	☐ 出来ていない
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)				
☐ 十分出来ている	☒ 出来ている	☐ 余り出来ていない	☐ 出来ていない	

総合評価 (判定)	B	<p>A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている</p> <p>B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている</p> <p>C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い</p> <p>D 成果がほとんど上がっておらず、根本的な見直しが必要</p>
判定説明 及び考察	<p>令和5年度は結崎能の開催された年度で、200人の動員が得られた。令和3年度の動員が140人だったので、動員数の増加がみられた。いわゆる「義経物」として人気の高い演目であったことがある程度功を奏した形といえる。とはいえキャパに対しては50%を少し超えたに過ぎないので、動員数の増加については今後とも継続して考えていきたい。</p> <p>文化振興事業で新規自主事業として「川西の森」を開催しました。町にゆかりのあるピアノを演奏される方々を募集し、発表の場を提供しました。演奏者35名、来場者300名と反響の大きいイベントとなりました。今後も継続的に開催したいと思います。</p>	
事業の 方向性	<p>☐ さらに重点化する</p> <p>☒ 現状のまま継続する</p> <p>☐ 見直しのうえ継続する</p> <p>☐ 事業の縮小を検討する</p> <p>☐ 休止、廃止を検討する</p> <p>☐ 終了・完了</p>	
学識経験者 意見	<p>川西の森で行われたピアノ演奏の発表会は大変良かった。スタインウェイのピアノを弾くことができる貴重な機会になったと思う。ぜひ、ピアノによるPR活動を続けていってほしい。</p>	
総合評価 (考察)	<p>鑑賞型事業から参加型の事業を検討して開催していくことで、コスモスホールで行われるイベントに触れていただく機会が増えている。今後も気軽に文化に触れ、親しむ機会を創出する。</p>	
施策等への 反映方針	<p>文化事業において、広報活動に課題が見えている。 能楽やホール資源を有効活用し、町に根差した事業を企画し、町民に親しんでもらえるように工夫し取り組んでいく。</p>	

教育委員会事業評価報告書

事業 No.	教社 5 - 7 号	担当課名	社会教育課
事務事業名	川西文化祭	施設名	
総合計画の政策目標名	地域文化の創造	係名	生涯学習係

事業の目的	文化・芸術・芸能活動をしている川西町に関わる団体等がその成果を発表できる場を提供することにより、地域住民の文化等への関心と興味を深めるとともに、活動団体等にあつては学習意欲の向上とスキルアップを促進する。
-------	--

事業の内容	文化協会各クラブだけでなく、地域住民の発表や展示作品も募集し、地域の文化創造の向上を図る。
-------	---

事業の対象	住民
-------	----

事業コスト	区分	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
	事業費 ① (千円)	779	1,595	1,609
内一般財源 (千円)	779	1,595	1,609	
内受益者負担 (千円)				
人件費 ②				
総コスト①+② (千円)	779	1,594	1,609	

事業実績・成果 (指標)	名称	単位	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度(予定)
	来場者数	(人)	1,000	1,000	1,000
開催期間	(日)	2	2	2	

事業の評価	妥当性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	☐ 増加	☒ 横ばい	☐ 減少	☐ かなり減少
	有効性(施策や運営方法等目的の実現に寄与しているか)			
	☐ 十分寄与する	☒ 概ね寄与する	☐ 余り寄与していない	☐ 出来ていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)			
☐ 十分出来ている	☒ 出来ている	☐ 余り出来ていない	☐ 出来ていない	
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)				
☐ 十分出来ている	☒ 出来ている	☐ 余り出来ていない	☐ 出来ていない	

教育委員会事業評価報告書

事業 No.	教社 5 - 8 号	担当課名	社会教育課
事務事業名	文化財保存事業	施設名	
総合計画の政策目標名	魅力ある歴史環境の未来への継承	係名	生涯学習係

事業の目的	文化財の保存・管理・公開を行う。			
事業の内容	町指定文化財の調査、指定文化財保存団体への補助及び支援 白米寺・富貴寺管理団体への補助 保存事業に対する補助 未指定文化財に対する事業への補助			
事業の対象	文化財所有者・管理者・町内外の住民			
事業コスト	区分	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
	事業費 ① (千円)	2,402	356	649
	内一般財源 (千円)	2,402	356	634
	町史売上金 (千円)	0	0	15
	人件費 ②			
	総コスト①+② (千円)	2,402	356	649

事業実績・成果 (指標)	名称	単位	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度(予定)
	文化財管理補助	(千円)	130	130	130
	文化遺産への補助	(千円)	36	170	195
	文化財周辺整備	(千円)	2000	0	0

事業の評価	妥当性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	☐ 増加	☒ 横ばい	☐ 減少	☐ かなり減少
	有効性(施策や運営方法等目的の実現に寄与しているか)			
	☐ 十分寄与する	☒ 概ね寄与する	☐ 余り寄与していない	☐ 出来ていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)			
☐ 十分出来ている	☒ 出来ている	☐ 余り出来ていない	☐ 出来ていない	
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)				
☐ 十分出来ている	☒ 出来ている	☐ 余り出来ていない	☐ 出来ていない	

総合評価 (判定)	<h1>B</h1>	<p>A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている</p> <p>B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている</p> <p>C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い</p> <p>D 成果がほとんど上がっておらず、根本的な見直しが必要</p>						
判定説明 及び考察	<p>今年度は劣化の進んでいた説明版の更新を行った。今年度は1枚のみだが、これから増えていくものと思われるので、予算を確保して更新していきたい。</p> <p>また、寺川沿いの地蔵の祠について修繕の補助を行った。この面についてもこれから増えていくものと思われるので、準備をしていきたい。</p>							
事業の 方向性	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; border: none;">☐ さらに重点化する</td> <td style="width: 50%; border: none;">☐ 事業の縮小を検討する</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">☒ 現状のまま継続する</td> <td style="border: none;">☐ 休止、廃止を検討する</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">☐ 見直しのうえ継続する</td> <td style="border: none;">☐ 終了・完了</td> </tr> </table>		☐ さらに重点化する	☐ 事業の縮小を検討する	☒ 現状のまま継続する	☐ 休止、廃止を検討する	☐ 見直しのうえ継続する	☐ 終了・完了
☐ さらに重点化する	☐ 事業の縮小を検討する							
☒ 現状のまま継続する	☐ 休止、廃止を検討する							
☐ 見直しのうえ継続する	☐ 終了・完了							
学識経験者 意見	<p>文化財は、手入れをしないと維持していけないため、非常に重要な取り組みである。今後、修繕が増えてくることが予想されるので、継続的に修繕を進めていってほしい。</p> <p>またパンフレットや広報などで情報発信をしてもらっているが、興味のある方にしか伝わっていないかもしれない。しかし、この努力が優れた文化財保護につながると考えている。</p>							
総合評価 (考察)	<p>令和2年度作成のパンフレットは、よくできているので、内外に積極的に配布したい。令和6年度には能のマンガを作成するので、これも加えてアピールしていきたい。</p>							
施策等への 反映方針	<p>川西町の国指定文化財は数量としては少ないが、町の面積から見ると実は多い部類に入る。未指定の物にも良いものはあるので、そういったものもアピールしたい。</p>							

教育委員会事業評価報告書

事業 No.	教社 5 - 9 号	担当課名	社会教育課
事務事業名	島の山古墳史跡公園化事業	施設名	
総合計画の政策目標名	魅力ある歴史環境の未来への継承	係名	生涯学習係

事業の目的	川西町に所在する県内有数の古墳である島の山古墳を史跡公園化する。			
事業の内容	川西町に所在する県内有数の古墳である島の山古墳を史跡公園化する。その目的を遂行するために、整備構想をまとめ、具体的な整備をどのように行っていくかを協議する。またそれらの構想を具現化するための資料集めとして平成20年度まで発掘調査を遂行してきた。			
事業の対象	国史跡島の山古墳			
事業コスト	区分	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
	事業費① (千円)	7,630	4,779	14,945
	内一般財源 (千円)	2,693	1,673	7,725
	補助金 (千円)	4,937	3,106	7,220
	人件費②			
	総コスト①+② (千円)	7,630	4,779	14,945

事業実績・成果 (指標)	名称	単位	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度(予定)
	事業実施個所	(箇所)	1	1	1
	整備実施面積	(㎡)	0	0	300
	調査委員会開催	(回)	1	1	1

事業の評価	妥当性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	☐ 増加	☒ 横ばい	☐ 減少	☐ かなり減少
	有効性(施策や運営方法等目的の実現に寄与しているか)			
	☐ 十分寄与する	☒ 概ね寄与する	☐ 余り寄与していない	☐ 出来ていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)			
	☐ 十分出来ている	☒ 出来ている	☐ 余り出来ていない	☐ 出来ていない
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)				
☐ 十分出来ている	☒ 出来ている	☐ 余り出来ていない	☐ 出来ていない	

教育委員会事業評価報告書

事業 No.	教社 5 - 10 号	担当課名	社会教育課
事務事業名	二十歳のつどい	施設名	文化会館
総合計画の政策目標名	まちづくり活動の促進	係名	生涯学習係

事業の目的	20歳の門出を祝い、式典を通じて新成人としての自覚と認識を促す。			
事業の内容	町在住の新成人及び町出身の希望者を対象に成人式を開催し、来賓及び恩師を交えて20歳の門出を祝う。また、式典を通じて新成人としての自覚と認識を促すとともに、相互の交流を通じて町における将来の地域コミュニティの推進を図る。 式典後に記念写真を撮り、交流会などを行う。			
事業の対象	新成人			
事業コスト	区分	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
	事業費① (千円)	178	163	212
	内一般財源 (千円)	178	163	212
	内受益者負担 (千円)			
	人件費②			
	総コスト①+② (千円)	178	163	212

事業実績・成果 (指標)	名称	単位	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度(予定)
	成人対象人数	(人)	75	83	83
	参加人数	(人)	51	67	66
	参加率	(%)	68%	80%	80%

事業の評価	妥当性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	☒ 増加	☐ 横ばい	☐ 減少	☐ かなり減少
	有効性(施策や運営方法等目的の実現に寄与しているか)			
	☐ 十分寄与する	☒ 概ね寄与する	☐ 余り寄与していない	☐ 出来ていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)			
	☐ 十分出来ている	☒ 出来ている	☐ 余り出来ていない	☐ 出来ていない
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)				
☐ 十分出来ている	☒ 出来ている	☐ 余り出来ていない	☐ 出来ていない	

教育委員会事業評価報告書

事業 No.	教社 5 - 11 号	担当課名	社会教育課
事務事業名	子育て支援事業(家庭教育学級)	施設名	
総合計画の政策目標名	多様な学習機会・情報の提供	係名	生涯学習係

事業の目的	親が持つ“子育て力”を引き出し、親が自信を持って子育てができるように、また親が親として育つことができるように支援する。
-------	---

事業の内容	園児・児童・生徒がいる保護者に対して、家庭における教育に関する講演等を行い、子どもの健全育成を図る。
-------	--

事業の対象	園児・児童・生徒の保護者
-------	--------------

事業コスト	区分	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
	事業費 ① (千円)	0	0	59
内一般財源 (千円)	0	0	59	
補助金 (千円)				
人件費 ②				
総コスト①+② (千円)	241	0	59	

事業実績・成果 (指標)	名称	単位	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度(予定)
	参加者	(人)	60	62	60
			交流イベント延べ350	交流イベント延べ350	交流イベント延べ350

事業の評価	妥当性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	☐ 増加	☒ 横ばい	☐ 減少	☐ かなり減少
	有効性(施策や運営方法等目的の実現に寄与しているか)			
	☐ 十分寄与する	☒ 概ね寄与する	☐ 余り寄与していない	☐ 出来ていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)			
☐ 十分出来ている	☒ 出来ている	☐ 余り出来ていない	☐ 出来ていない	
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)				
☐ 十分出来ている	☒ 出来ている	☐ 余り出来ていない	☐ 出来ていない	

総合評価 (判定)	<h1>A</h1>	<p>A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている</p> <p>B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている</p> <p>C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い</p> <p>D 成果がほとんど上がっておらず、根本的な見直しが必要</p>
判定説明 及び考察	<p>これまでの「子育て応援隊かわにしWAKUWAKU+1」の活動が評価され、令和5年度の「家庭教育支援チーム」に関する活動推進で文部科学大臣表彰を受けました。12/2に川西小学校において連合PTAと小学校共催で和歌山大学教育学部藤田直子氏による読書活動に関する教育講演会を行いました。</p>	
事業の 方向性	<p>☐ さらに重点化する</p> <p>☒ 現状のまま継続する</p> <p>☐ 見直しのうえ継続する</p> <p>☐ 事業の縮小を検討する</p> <p>☐ 休止、廃止を検討する</p> <p>☐ 終了・完了</p>	
学識経験者 意見	<p>他市町村から引っ越してきた人から子育て支援が充実しているという声を聞く。継続して取り組んでほしい。</p>	
総合評価 (考察)	<p>スマイルフェスタは親子で気軽に参加することができ親子の時間や子育て世代の交流ができることで子育て支援ができています。</p>	
施策等への 反映方針	<p>今後も親子の時間や子育て世代が交流できる場を提供していく。</p>	

教育委員会事業評価報告書

事業 No.	教 社 5 - 12 号	担 当 課 名	社会教育課
事務事業名	成人講座事業	施 設 名	
総合計画の政策目標名		係 名	生涯学習係

事業の目的	社会情勢の変動や複雑化に対応した一般教養、近年問題とされている社会問題等を学ぶことにより、住民相互で助けあっている地域づくりをめざす。
-------	---

事業の内容	「生涯学習振興指針」及び「教育要覧」において重点施策の一つに据えられている「男女共同参画の視点に立った学習機会の提供」を踏まえ、男女共同参画講座を実施する。
-------	--

事業の対象	一般町民
-------	------

事業コスト	区分	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
	事業費 ① (千円)	0	52	64
内一般財源 (千円)	0	52	64	
内受益者負担 (千円)				
人件費 ②				
総コスト①+② (千円)	0	52	64	

事業実績・成果 (指標)	名称	単位	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度(予定)
	年間参加者	(人)	5	26	50
のべ参加者	(人)	34	34	50	

事業の評価	妥当性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	☐ 増加	☒ 横ばい	☐ 減少	☐ かなり減少
	有効性(施策や運営方法等目的の実現に寄与しているか)			
	☐ 十分寄与する	☒ 概ね寄与する	☐ 余り寄与していない	☐ 出来ていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)			
	☐ 十分出来ている	☒ 出来ている	☐ 余り出来ていない	☐ 出来ていない
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)				
☐ 十分出来ている	☐ 出来ている	☒ 余り出来ていない	☐ 出来ていない	

令和5年度事務事業評価対象事業

社会教育課(体育館)

番 号	事 業 名
教社体 5-1 号	スポーツ協会運営事業
判定及び事業の方向性	B 現状のまま継続する
教社体 5-2 号	スポーツ少年団事業
判定及び事業の方向性	B 現状のまま継続する

教育委員会事業評価報告書

事業 No.	教社体 5 - 1 号	担当課名	社会教育課
事務事業名	スポーツ協会運営事業	施設名	中央体育館 他
総合計画の政策目標名	生涯スポーツの推進	係名	社会体育係

事業の目的	歩こう会・球技大会等を通じて、町民の健康増進やふれあいを大切にしながら、運動に対する認識を高める。			
事業の内容	町民に対する生涯スポーツの振興を図るため、体育協会の運営がスムーズに進行するように、費用の一部を補助する。			
事業の対象	町民			
事業コスト	区分	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
	事業費 ① (千円)	1,000	1,000	1,000
	内一般財源 (千円)	1,000	1,000	1,000
	内受益者負担 (千円)			
	人件費 ②			
	総コスト①+② (千円)	800	1,000	

事業実績・成果 (指標)	名称	単位	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度(予定)
	クラブ数	(クラブ)	8	8	8
	人数	(人)	202	195	200

事業の評価	妥当性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	☐ 増加	☒ 横ばい	☐ 減少	☐ かなり減少
	有効性(施策や運営方法等目的の実現に寄与しているか)			
	☒ 十分寄与する	☐ 概ね寄与する	☐ 余り寄与していない	☐ 出来ていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)			
	☐ 十分出来ている	☒ 出来ている	☐ 余り出来ていない	☐ 出来ていない
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)				
☐ 十分出来ている	☒ 出来ている	☐ 余り出来ていない	☐ 出来ていない	

総合評価 (判定)	<h1>B</h1>	<p>A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている</p> <p>B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている</p> <p>C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い</p> <p>D 成果がほとんど上がっておらず、根本的な見直しが必要</p>						
判定説明 及び考察	<p>誰でも簡単にできる軽スポーツとして、フーバ大会を年2回実施。参加者の減少が見られ、今後の課題として、小学生から高齢者まで多くの町民が参加できる種目を考える。9月には、町民運動会をNPO法人川西スポーツクラブとの共催で実施。歩こう会(ぶら〜り散策)についても、神戸方面で実施し35名の参加者。冬の時期には、スキー・スノボ教室を実施25名。</p>							
事業の 方向性	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; border: none;">☐ さらに重点化する</td> <td style="width: 50%; border: none;">☐ 事業の縮小を検討する</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">☒ 現状のまま継続する</td> <td style="border: none;">☐ 休止、廃止を検討する</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">☐ 見直しのうえ継続する</td> <td style="border: none;">☐ 終了・完了</td> </tr> </table>		☐ さらに重点化する	☐ 事業の縮小を検討する	☒ 現状のまま継続する	☐ 休止、廃止を検討する	☐ 見直しのうえ継続する	☐ 終了・完了
☐ さらに重点化する	☐ 事業の縮小を検討する							
☒ 現状のまま継続する	☐ 休止、廃止を検討する							
☐ 見直しのうえ継続する	☐ 終了・完了							
学識経験者 意見	<p>参加者が減少してきていることは課題である。過去、スキー、スノボ教室は非常に参加者が多かったと思うが、人数が減ってきているのであれば原因をしっかりと調査し、継続して取り組んでほしい。</p>							
総合評価 (考察)	<p>軽スポーツ(フーバ大会)やスキー・スノボ教室については、多くの住民が参加できる内容等を、町スポーツ推進委員や関係団体と検討していく。</p>							
施策等への 反映方針	<p>多くの町民が参加でき、健康増進につながるイベントを計画していく。</p>							

教育委員会事業評価報告書

事業 No.	教社体 5 - 2 号	担当課名	社会教育課
事務事業名	スポーツ少年団事業	施設名	
総合計画の政策目標名	生涯スポーツの推進	係名	社会体育係

事業の目的	スポーツを通じて子どもたちの心身の鍛錬に励み、青少年健全育成を図る。			
事業の内容	川西町スポーツ少年団・川西FC〔サッカー〕川西フェニックス〔野球〕No. 1キッズ〔総合スポーツ〕の3つの団体に補助金を交付し、青少年健全育成を図る。			
事業の対象	スポーツ少年団			
事業コスト	区分	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
	事業費 ① (千円)	150	150	150
	内一般財源 (千円)	150	150	150
	内受益者負担 (千円)			
	人件費 ②			
	総コスト①+② (千円)	150	150	

事業実績・成果 (指標)	名称	単位	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度(予定)
	川西フェニックス	(人)	13	13	13
	川西FC	(人)	37	49	49
	No.1キッズ	(人)	29	30	30
	計		79	92	92

事業の評価	妥当性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	☒ 増加	☐ 横ばい	☐ 減少	☐ かなり減少
	有効性(施策や運営方法等目的の実現に寄与しているか)			
	☐ 十分寄与する	☒ 概ね寄与する	☐ 余り寄与していない	☐ 出来ていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト削減しているか)			
☐ 十分出来ている	☒ 出来ている	☐ 余り出来ていない	☐ 出来ていない	
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)				
☐ 十分出来ている	☒ 出来ている	☐ 余り出来ていない	☐ 出来ていない	

令和5年度事務事業評価対象事業

社会教育課(図書館)

番 号	事 業 名
教社図 5-1 号	図書館業務
判定及び事業の方向性	A さらに重点化する
教社図 5-2 号	おはなし会
判定及び事業の方向性	B さらに重点化する
教社図 5-3 号	おはなしボランティア養成講座
判定及び事業の方向性	B さらに重点化する

教育委員会事業評価報告書

事業 No.	教社図 5 - 1 号	担当課名	社会教育課
事務事業名	図書館業務	施設名	図書館
総合計画の政策目標名	生涯学習拠点の充実	係名	

事業の目的	住民が必要とする情報を提供し、利用者を一人でも多く増やすため、住民の知る権利を保障し、生涯学習拠点としての充実を図る。			
事業の内容	住民が親しみやすく、利用したくなるような生涯学習拠点とするため、暮らしに役立つ、こころを豊かにする資料や調べ物に役立つ資料、更には郷土資料を収集し、常に新しい発見があるような場にする。			
事業の対象	川西町民及び在勤・在学者			
事業コスト	区分	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
	事業費 (千円)	12,196	10,475	15,281
	内一般財源 (千円)			
	内 図書費 (千円)	3,575	3,595	3,595
	開館日数 (日)	271	262	266
総コスト (千円)	12,196	10,475	15,281	

事業実績・成果 (指標)	名称	単位	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度(予定)
	利用者数	(人)	8,267	8,656	8,950
	新規登録者	(人)	52	85	90
	貸出総数	(冊)	37,538	38,010	38,500
	登録者数	(人)	8,397	8,483	8,550

事業の評価	妥当性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	☐ 増加	☒ 横ばい	☐ 減少	☐ かなり減少
	有効性(施策や運営方法等目的の実現に寄与しているか)			
	☐ 十分寄与する	☐ 概ね寄与する	☒ 余り寄与していない	☐ 出来ていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト削減しているか)			
	☐ 十分出来ている	☐ 出来ている	☒ 余り出来ていない	☐ 出来ていない
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)				
☐ 十分出来ている	☐ 出来ている	☒ 余り出来ていない	☐ 出来ていない	

教育委員会事業評価報告書

事業 No.	教社図 5 - 2 号	担当課名	社会教育課
事務事業名	おはなし会	施設名	図書館
総合計画の政策目標名	生涯学習の充実と推進	係名	

事業の目的	2・3才……絵本を楽しむ基礎づくりと生涯における読書習慣の素地づくりをする。 4才以上……“おはなし”は、耳からの読書といわれ、読書習慣の素地を培う最も有効な手段であり、子どもを楽しみから本の世界へ誘うものである。 親子……普段は子どもだけのおはなし会に親子で参加し、一緒におはなしの世界を楽しむ。
-------	---

事業の内容	“2・3才のえほんのへや”や“おはなし会”は、子どもの理解度に合わせた内容で行っている。 ●2・3才……人と人とのコミュニケーションの基礎をつくるこの時期に、わらべうたや絵本を親子で楽しみ、ふれあう機会を設ける。 ●4才～1年生……世界中の昔話や創作のおはなしを語り、絵本の読み聞かせを行う。 ●2年生以上……世界中の昔話や創作のおはなしを語り、その本を紹介し読書につなげる。 ●親子……4歳以上の子どもとその保護者を対象に、親子で一緒におはなしを楽しむ機会を設ける。年1回実施。
-------	--

事業の対象	2・3才児とその保護者、4才から中学生まで、親子(4歳以上の子どもとその保護者)
-------	--

事業コスト	区分	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
	事業費 ① (千円)	19	49	58
内一般財源 (千円)				
内受益者負担 (千円)				
人件費 ②				
総コスト①+② (千円)	19	49	58	

事業実績・成果 (指標)	名称	単位	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度(予定)
	参加人数	(延べ数)	171	157	176
開催回数	(回)	34	34	34	

事業の評価	妥当性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	☐ 増加	☒ 横ばい	☐ 減少	☒ かなり減少
	有効性(施策や運営方法等目的の実現に寄与しているか)			
	☐ 十分寄与する	☒ 概ね寄与する	☐ 余り寄与していない	☐ 出来ていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)			
	☐ 十分出来ている	☒ 出来ている	☐ 余り出来ていない	☐ 出来ていない
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)				
☐ 十分出来ている	☐ 出来ている	☒ 余り出来ていない	☐ 出来ていない	

教育委員会事業評価報告書

事業 No.	教社図 5 - 3 号	担当課名	社会教育課
事務事業名	おはなしボランティア養成講座	施設名	図書館
総合計画の政策目標名	生涯学習の人材育成と活用	係名	

事業の目的	子どもを楽しみから読書へ誘うためには、子どもたちがおはなしにふれる機会を増やすことが必要である。そのために、世界中の昔話や創作のおはなしを語る、語り手を養成する。また、小さい子どもに、絵本の読み聞かせを行うためのボランティアも合わせて養成する。
-------	--

事業の内容	語り手の資質を向上させるため、お互いに語り合う実習を通して、民族の文化遺産ともいべき、各国の多彩な昔話や創作の話を知り、豊かな文学性にふれる。それによって、おはなしの語りの技術の習得をめざす。また、読み継がれている絵本を知り、選び方、読み方、持ち方などを身につける。
-------	---

事業の対象	原則として川西町民
-------	-----------

事業コスト	区分	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
	事業費 ① (千円)	44	32	56
内一般財源 (千円)				
内受益者負担 (千円)				
人件費 ②				
総コスト①+② (千円)	44	32	56	

事業実績・成果 (指標)	名称	単位	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度(予定)
	参加人数	(延べ数)	128	93	125
開催回数	(回)	12	8	14	

事業の評価	妥当性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	☐ 増加	☒ 横ばい	☐ 減少	☐ かなり減少
	有効性(施策や運営方法等目的の実現に寄与しているか)			
	☐ 十分寄与する	☒ 概ね寄与する	☐ 余り寄与していない	☐ 出来ていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)			
☐ 十分出来ている	☒ 出来ている	☐ 余り出来ていない	☐ 出来ていない	
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)				
☐ 十分出来ている	☐ 出来ている	☒ 余り出来ていない	☐ 出来ていない	

令和5年度事務事業評価対象事業

社会教育課(子どもセンター)

番 号	事 業 名
教社子 5-1 号	地域ふれあい事業
判定及び事業の方向性	B 現状のまま継続する

教育委員会事業評価報告書

事業 No.	教社子 5 - 1 号	担当課名	社会教育課
事務事業名	地域ふれあい事業	施設名	子どもセンター
総合計画の政策目標名	青少年健全育成	係名	

事業の目的	小学生児童が異年齢との交流や地域間及び世代間との交流、さらに様々な体験活動を通しての集団活動を進める中で、豊かな人間関係をつくり、情操・自尊感情を育て、主体性の育成を目的とする。			
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 異年齢交流(紙粘土教室、おもしろ科学教室、料理教室) ・ 集団体験活動(高学年は野外活動、低学年は自然体験活動) ・ 世代間交流(餅つき大会) 			
事業の対象	川西町内及び二階堂小学校区の小学生			
事業コスト	区分	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
	事業費 ① (千円)	382	496	757
	内一般財源 (千円)	288	300	576
	参加負担金等 (千円)	120	196	181
	人件費 ②	26	47	42
	総コスト①+② (千円)	408	543	799

事業実績・成果 (指標)	名称	単位	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度(予定)
	募集人数	(人)	510	510	510
	応募人数	(人)	298	280	500
	参加人数	(人)	330	345	500

事業の評価	妥当性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	☐ 増加	☒ 横ばい	☐ 減少	☐ かなり減少
	有効性(施策や運営方法等目的の実現に寄与しているか)			
	☐ 十分寄与する	☒ 概ね寄与する	☐ 余り寄与していない	☐ 出来ていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)			
	☐ 十分出来ている	☐ 出来ている	☒ 余り出来ていない	☐ 出来ていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
☐ 十分出来ている	☐ 出来ている	☒ 余り出来ていない	☐ 出来ていない	